

# 山麓もよう

交流の家周辺の体験情報をご紹介します

## 【たくみの里】

<http://takuminosato.or.jp/>

新潟県との県境近く、みなかみ町(旧新治村)に位置するたくみの里では、日本の原風景とも言える懐かしい山村の風景を目にすることができます。



おばあちゃんの手をよーく見ながらやってみる。

また、地域内には昔ながらの伝統的な手わざを伝える工房が点在しており、わら細工や木工などの手作り体験が楽しめます。指導を行ってくれる「たくみ」は昔から地域にお住まいのお年寄りたち。おじいちゃん、おばあちゃんと楽しいお話をしながら交流することも魅力のひとつです。

寒い時期ですので近くにある猿ヶ京温泉でじっくり身体を温めるのも良いでしょう。年間50万人の入場者が訪れるたくみの里へ、一度お出かけしてみたいですか。(文：原田)

- 所要時間: 交流の家から車で約1時間10分
- 住所: 群馬県利根郡みなかみ町須川847
- 休館日: 無休(夏休み期間中は数日休館になる工房もございます。まずはお問い合わせください。)
- TEL: 0278-64-2210
- ※団体予約はたくみの里体験予約センターへお電話ください。(0278-20-6111)土日・祝祭日定休。
- 料金: 体験料金は、各工房によって異なりますので、ホームページをご覧ください。
- 開館時間: 9:00~17:00 (冬期 16:00閉館)

### 「ないものがある」こと

コラム  
すたっふの目

文: 高瀬 宏樹  
【たかせ ひろき】



群馬の「温泉」と「山」と「野菜」が大好きだと話す高瀬室長。

赤城で働き出してから3年目も終わろうとしています。群馬の豊かさ、住みやすさ、居心地の良さに満足している自分がいます。群馬に「行く」と言っていた自分がいつのまにか、群馬に「帰る」と言うようになるのにはそんなに時間はかかりませんでした。

できるだけ休みの日は、県内を巡り歩くようにしています。そうするとますます群馬が愛おしくなります。群馬には、他の地域には「ない」ものが、たくさん「ある」のです。多くの人に会い、多くの「しごと」をしてきました。人に会えば会うほど、「しごと」は増えていきますが、それは決して大変ではなく、むしろ「うれしい」のです。頼ったり、頼られたり、助けられたり、励まされたりと、私が成長させてもらってきたと思います。

これで終わりではありません。私がまだ出会っていない群馬がまだまだありそうです。これからも出歩き続けたいと思います。

# つぶやき田

【テーマ:2015年、これ始めます!】

- 予言します。2015年、私は1日あたりの缶コーヒーの量を減らすでしょう。そして、挫折します。(中屋)
- こちらに来てから登山に目覚め、体力もついてきた気ですが、来年はいよいよマラソンにも挑戦しようか?と思っています。まずは減量からかな(苦笑)(原田)
- 来年こそは、群馬の名湯をくまなくめぐりたい。草津、四万、万座、水上、宝川などなど沢山ありますね!(松崎)
- 森林セラピストという資格があるようで、講座の受講を始めてと思っています。まずは2級から。(山田)
- まずは、健康管理のために体力作り。そして、国立施設めぐりをしたい!北海道いいなあ。(杉浦)
- 定期的な運動!(フライングディスクができれば...)と〇〇巡りとかいいなあ。(根岸)
- 11月で車検が切れるので、新車購入に向けて貯金を始めます!(木暮)
- ぐんま百名山巡り(森田)
- 絵・書物などを通して美の感性を磨き、魅力ある人を目指すぞー!!(井上)
- 自分の好きなことをトコトやる!きつと丸くなる(-\_-)(江原)
- 来年は家族4人で富士登山。そのための体づくりをはじめます。(新井)
- 「少し早足で色んなことに挑戦」してゆきたいです。何がいいかな~(鈴木)
- 友達づくり。テニスを一緒にしてくれる方を大募集しています!(軟式・硬式問わず。)(落合)
- 早起きをする、体を動かすこと、そろそろ自分の健康について考える生活を始めたいです。(織間)
- イクメンまっしぐら。料理月1回、掃除機週1回、入浴支援週5回、公園遊び支援月1回程度(あくまで周りの声)(小川)
- 「朝活」で運動を始めたいです。朝の赤城で、おいしい空気を吸いながら運動すると気持ちがいいだろうな~。(高橋)
- 2015年はこれ以上何もしたくない心境です。今年同様に出れば、超ハッピーです。(佐藤)
- 1、仕事でもっと役に立てるようにする 2、中断していた上州小山登りを再開させる。(手島)
- 群馬に来たので久々にスキーをしたいです。また、ギターにチャレンジしたいです。(根本)
- いい年になってきたので、そろそろ一部守りに入ります。手始めは年明けに人間ドックです。(高瀬)
- 朝のラジオ体操!今は時々なので、2015年から毎日やりたいな。あとはちゃんとお風呂でお湯につかること!(川崎)
- 野菜作りを極めたいと思います。リベンジ、キャベツ!無農薬でおいしい野菜作り!!(黛)

## 風と太陽のくにからの通信誌

# カラゴロリ

12-1  
2014-2015



### 「オオカメノキの冬芽」

オオカメノキの冬芽を見かけたことはありますか? 冬芽の観察をする人たちに1番人気なオオカメノキ。

手を広げた人のようにも見えます。手の部分が葉芽、顔の部分が花芽、6月ごろには可愛らしい白い花が咲きます。木の冬芽は同じような形をしていると思いがちですが、それぞれ特徴ある形をしており、見る人を楽しませてくれます。雪の中、スノーシューで歩きながら、冬芽観察なんていかがですか?

次号は、  
2月1日発行予定!

風のおと

『誰かの役に立ちたいDNA』

阪神淡路大震災からやがて20年になります。

この震災には、1日2万人、3ヶ月で100万人以上のボランティアが現地に駆けつけ、「ボランティア元年」とも呼ばれました。

これ以後、数多の災害に全国からボランティアが集まるようになったことはご存じのとおりです。

話は変わりますが、265年間続いた江戸時代には実に50回近い大火事があったそうです。5年に1回以上も発生していた計算になりますが、その都度被災者は誰かに助けられ、街は再建されてきたのです。

そして、大正12年の関東大震災で焼け野原になった東京は、わずか2年後に東京大空襲で再び街は壊滅してしまいます。

しかし、それから19年後にアジアで初めてのオリンピックを開催するまでに復興しました。

私たち日本人は、昔から地震や台風、火事や津波などの災害のたびに誰かを助けて生き抜くDNAがあると思っています。

6年後には、わが国で4回目のオリンピック・パラリンピックが開催されます。このDNAは『おもてなし』という形で世界中の方々をお迎えするはず。 所長 杉浦俊之

国立赤城青少年交流の家 <http://akagi.niye.go.jp/>

TEL:027-289-7224 (9:00~18:00)

FAX:027-289-7226

あかぎ カラゴロリ

検索

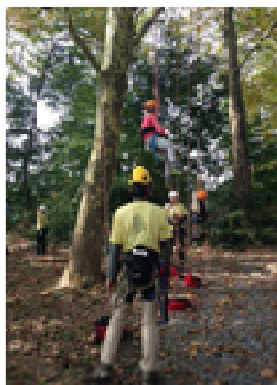
〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27

E-mail: [takagi@niye.go.jp](mailto:takagi@niye.go.jp)

# 今日がアウトドアデビュー記念日!!

10月26日(日)に秋のアウトドアフェスタが当所で開催され、秋晴れの気持ち良い空の下、100名を超える人でにぎわいました。

この秋のアウトドアフェスタは、当所を知ってもらうことも開催目的のひとつですが、1番のねらいは、1人でも多くの子どもたちに外で遊ぶことの楽しさを知ってもらいたいという思いで企画しました。当日は「今日がアウトドアデビューの日、多目的フィールドが遊び場」をキャッチフレーズに広い芝生の広場を開放し、広場を3つのエリアに分けて様々な体験をしていただきました。



1つ目は「森のエリア」。テニスコート周辺と山のキャンプ場を会場に、ツリーイング体験(協力:ジェネシスワン)やアドベンチャーラリー体験。アウトドアフェスタの体験の中で1番人気だったツリーイングはあつという間に定員となり、いつもは見上げている高さから見下ろす体験を楽しんでいました。

2つ目は「達人のエリア」。屋根付き広場を会場に、野外力検定や「空き缶でごはんを炊こう」。子どもから大人まで、真剣になって野外力検定に挑む姿がとても印象的でした。



また、空き缶でのごはん炊きも火おこしから家族みんなで協力し、1家族で2缶もごはんを炊いていました。

3つ目は「草原のエリア」。芝生を自由にかけまわる「はだしde広場」、ぶんぶんゴマづくり(協力:NPO法人あかぎの森のようちえん)、自由にごはんを食べられるお弁当当エリア。ここでは、芝生だったこともあり、はだして元気に走り回りながら体験を楽しむ子どもたちの姿を見ることができました。



## リレーションシップ事業 秋のアウトドアフェスタ

初めての秋のアウトドアフェスタでしたが、たくさんのお子さん、お父さん、お母さんが来て、様々な体験を楽しんでいってくれました。子どもたちはみんな目がキラキラしていて、初めての体験に心を躍らせているようでした。



大自然の中で遊ぶ楽しさや当所で行っているプログラムをもっとたくさんの方に知っていただくために、また来年も行う予定です。是非、ご家族で赤城の森へ遊びに来てください。(文:黛)

### 秋のアウトドアフェスタ内容

#### 森のエリア

ツリーイング体験(協力:ジェネシスワン)  
アドベンチャーラリー体験  
ディスクゴルフ体験



#### 達人のエリア

野外力検定~アウトドアの達人を目指そう~  
(火おこし・丸太切り・ロープワーク・豆つかみ)  
火あそび天国  
マキ割り体験  
空き缶でごはんを炊こう



#### 草原のエリア

はだしde広場  
KUBB(クッパ)トーナメント  
ジャンボ富士見カルタ大会  
ドッチビー大会  
ぶんぶんゴマづくり(協力:あかぎの森のようちえん)



## プログラム紹介!

### 【グリーンアドベンチャー】



このプログラムは、専用のマップをもって番号の付けられた樹木を観察しながら森の中をハイキングしていく活動です。樹木の名前を覚えるだけでなく、幹や葉っぱに触れてみたり、においを嗅いでみたり、花や実・葉っぱをよく観察したりしながら樹木に親しんでいきます。はじめての人にも分かりやすいように木の特徴などの説明が添えてあります。

楽しみ方の例①木の実をいくつか見つけられるか(どんぐり・松ぼっくり・かえでのたねなど)。②赤ちゃんの木を探そう(近くにある小さな苗木をみつけてみよう)。③葉脈スケッチ(葉っぱに紙をあてて鉛筆で軽くなぞってみる)。④これが分かれば植物博士(ひのきとさわらの違い)。

四季に合わせて楽しみ方はいろいろ、五感を使って自然と触れ合ってみてください。

(文:新井)



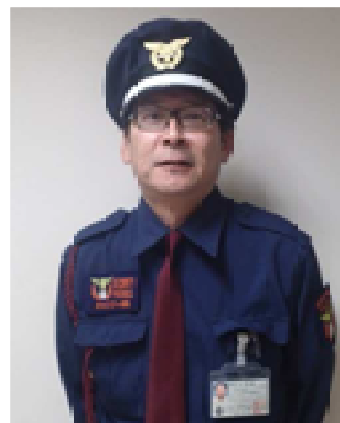
樹木に付けられた番号と問題の看板

国立赤城青少年交流の家で活躍する、非常勤講師やボランティアの方をご紹介します

## この人に会いたい

●国立赤城青少年交流の家 施設警備(オネステイ株式会社)

### 高橋 健二さん



話しかけるといろんな話が聞けますよ

高橋さんは2014年8月に警備員としてデビューした、言わば新米警備員さんです。しかし、既に交流の家の事を熟知し、日々交流の家の周辺を巡回して守ってくれています。

警備のお仕事は勤務中に気が抜ける時間はありません。晴れの日も雨の日もみんなが寝静まっている時も、施設周辺を厳しい目でチェックし、何かあればすぐに駆けつけてくれます。

話を伺ったところ、巡回していて普段と違うところがあると違和感を感じるそうです。実は以前、花を扱う仕事をしていて、毎日花を見てみると、様子がおかしい時はパッと見てすぐに気がつくので、その経験が今の仕事にも生きていておっしゃっていました。

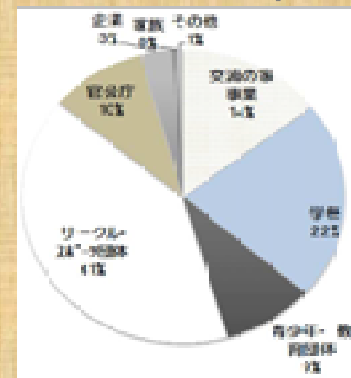
そんな高橋さんの楽しみは、巡回中の赤城の季節の移り変わりを見ることだそうです。都会では見られない景色が、時期によって違う表情を見せてくれることがとても素晴らしいと語ってくれました。

みなさんも利用の際に高橋さんと出会ったら、今の季節のオススメなど聞いてみてはいかがでしょうか。一味違った視点で教えてください。(文:江原)

## 利用のようす(10~11月)



- 10月の利用者数  
...9,456人  
91団体
- 11月の利用者数  
...8,041人  
74団体



### 施設周辺の植物など

国立赤城青少年交流の家のイメージキャラクターは「ササビ」ですが「ムササビ」をモチーフにしています。体長27~48センチでしっぽが28~41センチ、体重400~1300グラムで猫ぐらいの大きさとはいまイメージしやすいでしょうか?



前足と後ろ足に膜があり、飛ぶのではなくグライダーのように滑空します。その距離「〇〇m!」。小学1年生の教科書にも掲載されているぐらい、食事跡も特徴的です。



巣箱からちょこっと顔を出すむさび

「ムササビの食べ残し」を検索  
巣箱からひょっこり顔を出すこともあります。ぜひ、会いにきてください。(文:小川)  
iiw001f100※

## 野外活動における・リスクマネジメント 入門編 第7回

今回は野生動物との共生について取り上げましょう。交流の家は、自然の中にありますので、施設の中や周辺に野生動物が多く生息しています。施設のキャラクターにもなっているムササビを筆頭に、シカ、イノシシ、キジ、リスなどが姿を見せます。当然のことですが、交流の家は動物園ではありませんから、彼らの生活エリアと施設が一部一緒になっていることを忘れてはいけません。

人間主体で考えると、子どもに危害を及ぼさないか等を考えてしまいがちですが、実は私たちが彼らの生活圏に踏み込んでいないかと思えます。動物たちも、人間には会いたくないと思っていますので、物音がすれば彼らのほうから逃げていきます。うまく共存していくために、ゴミの処理を徹底したり(ゴミステーションの扉をちゃんと閉める、分別する)、夜の時間は動物たちのために静かにしているというのも、実は安全管理上大切なことだったりするのです。(文:高瀬)

## これからの動き

下記の事業の詳細はこちらまでお問合せください ⇒TEL027-289-7224(国立赤城青少年交流の家)「C」

■スポーツ交流デー(野球)  
12/6(土)~7(日) 1泊2日

県内外の中学校の野球部が集まり、主に試合を通して交流します。

■ボランティアのついで  
12/6(土)~7(日) 1泊2日

当施設の法人ボランティア主催の交流イベント。赤城のプログラム体験や交流会、探検ハイクなど内容は盛りだくさんです。

■福島子どもカプロジェクト  
ふみだす探検隊ぐんまアドベンチャーキャンプin嬬恋  
12月25(木)~28(日) 3泊4日

福島の子どもたちに自然体験活動を提供し、将来の福島県を支える人材を育てることを目的としたキャンプです。

■リスクマネジメントセミナー  
1/17(土)~18(日) 1泊2日

自然体験活動推進協議会との合同開催で行うセミナーで、安心安全な自然体験活動を行う為のノウハウを学ぶことが出来ます。